芝小だより

第十二月号

発行所　港区立芝小学校
〒105－0014
港区芝 2－21－3
TEL:03-3456-3072
FAX:03-3456-3071

認め、褒め、励ます
－「評価する」ということ－

校長　齋藤幸之介

過日実施いたしました学芸会には、多数御参観くださいまして、誠にありがとうございます。皆様の子供たちへのお励ましは、子供たちの何よりの自信となりました。少し前から「自己肯定感」という言葉が多く用いられるようになりました。「自分は大切な存在だ」「自分はかけがえのない存在だ」と思える子供たちは、様々な活動に自信をもって主体的に取り組める、と言われています。私は、本校の子供たちが学芸会を通して「自己肯定感」を高めることができた、と見取っています。

励ましは、子供たちの活動の様子や作品などの結果についていただけるものです。つまり、これは評価の一つとして捉えることができます。今年度に入り、様々な行事はもちろんのこと、日々の学習活動でも成果を上げてきました。そして、子供たちは保護者の皆様や地域の方々、そして教職員から評価をされてきました。多くの評価がその次の活動につながり、さらに大きな成果を上げる場合がありました。これから二学期末の評価が行われますが、このことが少しでも子供たちの「自己肯定感」を高めることにつながることを願っています。

教育における評価とは?

教育における評価とはどういったものなのでしょうか。評価とはそもそも、教員のためのものであります。具体的には、「教育目標を達成するためにそこに立案・実施された計画と指導法が所期の成果を上げているかどうかをチェックするもの」である、と言われています。また、評価されたものを教員が次の実践にフィードバックしていくことが重要です。

同時に、評価は「教育目標」の達成について行われるものでありますから、子供たちがどれだけ生きる力を身に付けたかを測るものでもあります。そして、保護者の方々や子供たちに評価を伝えることが大切なのは言うまでもありません。通知表の役割を改めて確認することができます。

契機―飛躍のためのきっかけとしての評価

さて、子供たちはいつ成長するのでしょうか。日々同じだけ成長をし続けるのであれば、評価はいらないかもしれません。しかし、なかなか技能が身に付かなかったり、考える力が高まらなかったり、やる気が出なかったりします。グラフにすると平らになってしまう場合も少なくありません。しかし、逆に大きく飛躍することもあります。「できた!」「分かった!」「もっとやりたい!」といった子供たちの姿はその例です。このとき、実は教員が子供たちの姿を適切に評価している場合が多くあります。これを「契機」つまり飛躍するときのきっかけと表現した教育者がいました。ですから、私共は、できるだけ効果的な評価をすべく、日々努力をしています。

しかし、実際の評価はそう容易いことではありません。いつ、どのように子供たちが成長するかは手探り状態であることもあります。少しでもよい評価をするために、私共はできるだけ多くの場面で子供たちの姿を観察し、そこからよさを見出そうとし、そしてときに褒め、ときに助言をし、またときに共に活動をしています。

ピグマリオン効果―子供の可能性を信じ、期待すること

御存じの方もいらっしゃると思いますが、心理学用語の一つに「ピグマリオン効果」というのがあります。他から期待されることによって学習や作業の成果が上がる、ということです。ピグマリオンとはギリシャ神話に登場するキプロス島の王の名前です。ピグマリオンは、自身が「象牙でつくった女像に恋をし、アフロディテがそれに声明を与えて妻とさせた（広辞苑）」とされます。

期待ばかりしていて本当に成果が上がるのか、という考えもあるかもしれません。「ならぬものはならぬ」と毅然として教えていく場合も必要です。しかし、冒頭に「自己肯定感」を高めるためには子供たちが励まされることが必要であると述べました。私共は、ここに改めて評価をする際には、子供たちの可能性を見出してこれを信じ、そして期待をしていくことを忘れてはならないと考えますが、いかがでしょうか。

これから、私共は二学期の教育活動を振り返り、改めて子供たち一人一人のよさを確認していきます。そして、通知表を通して保護者の方々と子供たちにこれを伝えていきます。そう多くない限られた字数ですが、その中に教職員の期待を込めるべく、一人一人を認め、褒め、励ましていきたいと思っています。十二月二十五日、皆様のお手元に通知表が届いたときに、どうぞ御家族でお話し合いをしていただきたいと思います。そして、御子様のよさを御確認いただき、そしてお子様への期待をお伝えくだされば幸いです。

文末になりますが、今年も多方面に亘る御理解と御協力を賜りましたことを感謝申し上げます。どうぞよいお年をお迎えくださいませ。

（参考文献
「教育評価法概説」　原著者：橋本重治（図書文化）
「わくわくどきどきチャレンジ社会科小学校六年」
編著：古川清行　梶井貢　渡辺やす子（東洋館出版社））